

水上レンジャーの巻

琵琶湖河川レンジャー レポート

令和4年度野洲川河川清掃 〜住民主役の活動に向けて〜



10月8日（土）野洲川中洲親水公園（あめんぼう）にて

河川レンジャー
活動支援室
2023年1月発行
VOL. 48



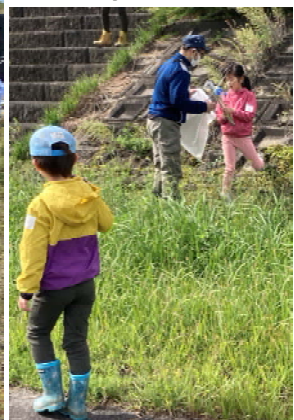
水上レンジャー

10月8日（土）に野洲川河川清掃が実施されました。今年で5回目を迎えるこの活動は、もともと、行政と企業や地域住民の方々が別々に実施していた清掃活動でしたが、水上河川レンジャーが繋ぎ協働で実施されています。

今年、地元企業のレイマック（株）、（株）アヤハ、立命館守山中学校・高等学校、地元の幸津川自治会、小浜自治会、市民活動団体の「なかつ野洲川たんけん隊」、守山市役所、国交省琵琶湖河川事務所、その他守山市民の参加のもとで行われました。第一部では、守山市幸津川の野洲川中洲親水公園（あめんぼう）を拠点に両岸約1km区間の清掃活動と幼木伐採が実施されました。1時間程度でしたが、たくさんゴミが集まりました。また、河川敷に生えてきた数本の幼木を伐採しました。



伐採した幼木の処理



幼木の伐採については、数年前に国交省琵琶湖河川事務所が、洪水対策の一環として行った樹林伐採工事の後に生えてきている木で、対策効果を維持していくために幼木のうちに河川管理者と住民との連携協働活動での伐採を試行するものです。また、伐採した木を、炭づくりやクラフトづくりの材料の一部として有効利用しています。

第二部では、親水公園広場で伐木材やヨシを利用した工作教室、根木山河川レンジャーによる草サツカー、住民の方によるリラクゼーションコーナー、活動支援室によるEポーター乗船体験などが催され、清掃活動の参加者に野洲川を楽しんでもらうイベントも取り入れていました。清掃活動は今年6月25日（土）にも実施され、延べ140人が参加されています。
（裏面に続く）

活動拠点（問い合わせ先）

水のめぐみ館 ウォーターステーション琵琶内 河川レンジャー活動支援室
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-2-2 TEL077-536-3520 FAX077-536-3530
E-mail: r-manager@water-station.jp URL: <http://www.water-station.jp/ranger>
FB: <http://www.facebook.com/BiwakoRanger>

フェイスブックで活動を広報しています！
琵琶湖河川レンジャーFacebookページ
<https://www.facebook.com/BiwakoRanger/>

【参加者の感想】

清掃活動や幼木伐採の参加者からの感想です。

子どもたちが、来るときは、「えー！」「み拾い」という感じだったのに、いざ、「み拾いが始まると、楽しそうに「み拾い」をしてくれていた。

子どもたちは、ゴミを宝さがしのように、見つけたら「あったー！」なんて感じで。楽しそうにしていた。

広報を行ってもっと人を増やすべき。

きれいで「み拾い」が少なかった。

大人の人が多いイベントだから安心して子供に川遊びをさせる事ができる。

幼木伐採に参加し、普段木を切らないので良い体験ができた。工作教室が面白かった。

子ども達も、ゴミ拾いをしていて良かった。

自然の中でマッサージしてもらって初めてで最高でした。

【河川レンジャートライアルも活躍】

河川レンジャー活動を体験する「河川レンジャートライアル」も活躍しました。今回は、龍谷大学の環境保全やボランティアに興味のある2回生、3回生の学生3名が参加しました。活動では、水上河川レンジャーとともに行動し、清掃活動や幼木伐採の体験者にアンケートを実施したり、Eポートに乗って水面から野洲川を視察するなどしました。水上河川レンジャーの一連の活動を通して将来の河川レンジャーにつながるような体験の場となりました。



Eポートで野洲川体験！



伐採木・ヨシを利用した工作教室

小学校での野洲川学習への協力 (開催報告)

11月7日、根木山河川レンジャーが、野洲市立野洲小学校4年生の児童を対象に野洲川学習に協力しました。

この学習には水上河川レンジャー、池田勝氏、活動支援室2名も講師役としてお手伝いしました。4クラスを2クラスずつ交代制でニコマの授業時間を使い行いました。事前に記録映画「野洲川の改修」(建設省琵琶湖工事事務所制作を視聴してもらい、その感想や意見をグループに分かれて聞いていくというものでした。

記録映画には、昭和54年に通水が始まった野洲川放水路事業のことが描かれており、洪水の歴史と人々の苦勞、工事計画にあたっての賛成や反対の人の存在、大きな機械を使つての大工事、遺跡の発見と工事の中断のエピソードなどが出てきます。

学習のねらいは、地元野洲川のことを考えるきっかけを作ってもらつこと、また、先生だけじゃない大人と話す場をもつこと、ということでした。そのため、印象に残った点や、工事をしたことが良かったかどうかという難題を問いかけるとともに、グループ別の児童らが各講師を順に巡り対話するものでした。



講師 根木山河川レンジャー

児童からは、短い時間にもかかわらず、真剣に考えて自分なりに考えた答えを返してくれていました。



野洲市立野洲小学校で野洲川学習の支援



根木山レンジャー

【放水路の工事をして良かったと思う？】安全に暮らすことができていたので良かったと思う。やはり、人の命が大切だと思う。

改修はやって良かったけど、他にやり方はなかったのか。

改修のために、家や田んぼを手放すことになった人がいるのでやらない方がよかったです。

【授業を受けてどうだった？】野洲川の改修や歴史の話が色々聞けて良かった。社会の授業は、難しいこともあるけど、今日はいろんなことが知れてよかった。講師が個性的で面白かった。

